

# 保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

型名	コード式ロータリーハンマードリル SRH-2640M		お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	1年
お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話			
販売	住所 店名	Tel ( )		

※上記欄にご記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

1、保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (ニ) 本書のご提示がない場合。
- (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2、本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談下さい。

3、本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。

4、本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元

 藤原産業株式会社

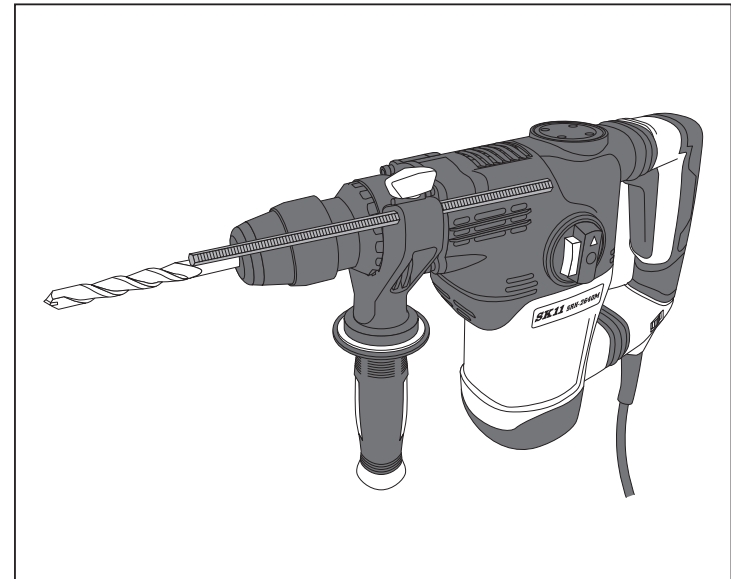
情報サービスセンター 〒673-0433兵庫県三木市福井2115-1 Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160



# コード式ロータリーハンマードリル

## SRH-2640M

### 取扱説明書



このたびは、SK11コード式ロータリーハンマードリルSRH-2640Mをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく、安全にご使用ください。また、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

※外観及び仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

# 目次

## 1. 各部名称・仕様・用途・標準付属品 ——— P2

各部名称	P2
仕様	P2
用途	P2
標準付属品	P2

## 2. 安全上のご注意 ——— P3～7

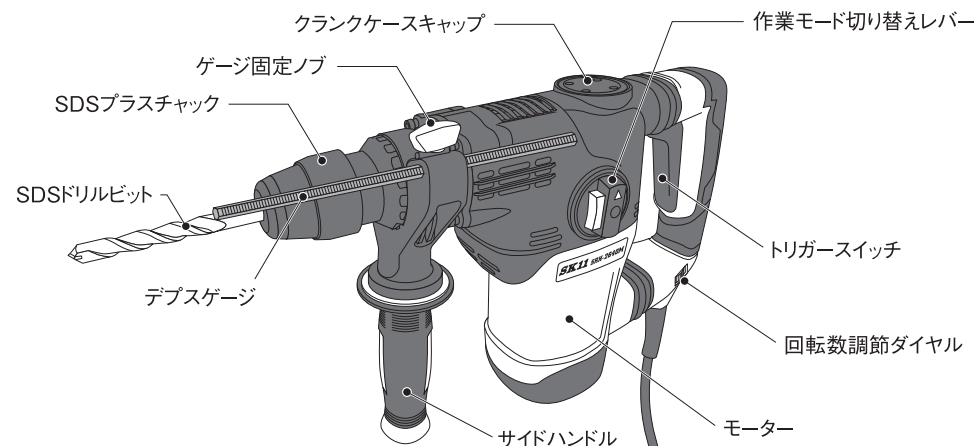
安全確保のために	P3
電動工具を安全にご使用いただくために	P3～5
ロータリーハンマードリルを安全にご使用いただくために	P6～7

## 3. 使い方 ——— P8～12

## 4. 無料修理規定 ——— P13

# 1. 各部名称・仕様・用途・標準付属品

## 各部名称



## 仕様

電源	単相交流100V 50Hz/60Hz	
消費電力	1050W	
電流	11A	
無負荷回転数	0～950min <sup>-1</sup>	
打撃数	0～4300min <sup>-1</sup>	
チャック	SDSプラス	
穴あけ能力	コンクリート	φ26mm
	コアビット	φ80mm
	ダイヤモンドコアビット	φ80mm
	鉄工	φ13mm
	木工	φ30mm
本体質量	約4.7kg	
コード長	5m	
絶縁方式	二重絶縁	

※改良のため、仕様および形状などは変更する場合がありますので、御了承ください。  
 ※本製品は正回転のみです。逆回転機能はございません。

## 用途

- コンクリート、石材、レンガ、ブロックなどの穴あけ作業および軽度のハツリ作業。
- 木材、金属などの穴あけ作業。※市販のSDS軸対応のドリルチャックが必要です(別売)

## 標準付属品

- コンクリートビット8, 10, 12mm 各1本 ●ブルポイント、チゼル 各1本 ●サイドハンドル

## 2. 安全上のご注意

### 安全確保のために

#### 警告

- 安全に正しくご使用いただくために、すべての取扱説明書の安全上の警告、指示、図解および仕様をよくお読みいただき、安全にお使いください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。「安全上のご注意」を守らない場合には、火災、感電、重傷を負うおそれがあります。
- お読みになった後は、必要に応じてお使いになる方がいつでも「見ることができるように、すべての警告および指示を後日のために保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

#### 警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


**警告** この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。


**注意** この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。「注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。


**注** この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。










#### 絵表示について






- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせ表示しています。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせ表示しています。

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせ表示しています。


 禁止  
 分解禁止  
 水ぬれ禁止  
 電源プラグを抜く  
 よく読む  
 点検・確認  
 保護メガネ着用  
 防じんマスク着用  
 防音保護着用

 感電注意  
 高温注意  
 指に注意  
 回転部注意  
 火災注意


### 電動工具を安全にご使用いただくために

#### 警告


##### 作業場について


 作業場はいつもきれいに明るく保ってください。

- ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。
- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所や作業台は事故の原因となります。

 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 爆発を誘引することがある可燃性の液体、ガスや粉じんのある所では使用しないでください。電動工具はこれらを発火させることがある火花を発生します。
- 電動工具使用中は、作業者以外、特に子供を近づけないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。また、作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

 火災注意

 騒音防止規制について  
騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

### 電気に関する安全事項

 禁止  
 ！  
電源は正しく接続してください。感電の危険が低減されます。

- 電源コンセントは電源プラグに合致するものを使用してください。
- 電源プラグは改造しないでください。
- アダプタプラグを併用する場合は、正しく接地(アース)してください。

 感電注意  
 水ぬれ禁止  
感電に注意してください。

- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。

 禁止  
コードを乱暴に扱わないでください。感電の危険が増大します。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがったところや動くものに近づけないでください。
- 重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

 ！  
屋外使用に合った延長コードを使用してください。感電の危険が低減されます。

- 屋外で延長コードを使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

 感電注意  
 ！  
●電動工具を湿った場所で用いることが避けられない時は、漏電遮断器(RCD)によって保護された電源を使用してください。これにより、感電のリスクは低減されます。

 感電注意  
 ！  
アース機構(アースクリップ、アース端子ねじ等)を有する電動工具は、必ず接地(アース)してください。

- 接地をしない故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップや本体のアース端子ねじにアース線を接続してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アース端子ねじと工具本体の金属外郭部間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋め込みアース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源に、接続されますことをお勧めします。
- 漏電遮断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。  
労働安全衛生規則 第333条・第334条  
電気設備に関する技術基準を定める省令(H9)の第10条及び第11条

 ！  
アース線をガス管に接続しないでください。

- 爆発のおそれがあります。
- アース機構を有する電動工具に延長コードを使用する時は、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
- アース線のない2芯コードの使用は、感電の原因になります。

 禁止  
 ！  
二重絶縁構造  
●このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですので接地(アース)する必要はありません。

**人的安全性**

 ！ 禁止  
油断しないで十分注意して作業を行ってください。一瞬の不注意で深刻な人的障害をもたらすことがあります。

- 電動工具を使用する場合は、自分が何をしているか、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して、常識をはたらかせて慎重に作業してください。
- 疲れていた、アルコールや薬を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。

 ！  
安全保護具を使用してください。

- 作業時は保護メガネを着用してください。
- 粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- また、必要に応じて、滑り防止安全靴、ヘルメットなど必要な安全保護具を使用してください。

 保護メガネ着用  
 防じんマスク着用  
 防音保護着用

 ！  
不用意な始動は避けてください。







- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- スイッチがオンになった電動工具のプラグを差し込むと、不意に回りますので危険です。

 ！  
調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。人的傷害をもたらすおそれがあります。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。










 ！  
材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。

- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(加工する材料を動かす製品は除く)



		無理な姿勢で作業をしないでください。 ●常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。 ●これによって、予期しない状況でも電動工具を適切に操作することができます。
		きちんとした服装で作業してください。 ●だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。 ●長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。 ●髪、服及び手袋などを回転部に近づけないでください。
		集じん装置が接続できるものは接続してください。粉じんを減少させることができます。 ●集じん装置が接続できる場合は、装置を確実に接続し、正しく使用してください。
		●電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業をしてください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こすおそれがあります。



## ■工具の使用と手入れ

		無理して使用しないでください。 ●用途に合った正しい電動工具を使用してください。異なる用途に無理に使用しないでください。 ●安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。 ●小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
		●スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。危険ですので、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。 ●スイッチで制御ができない電動工具を使用すると事故の原因となるおそれがあります。
		次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。誤って始動させるリスクを軽減することができます。 ●可動部分などの位置調整を行う場合。 ●刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。 ●使用しない、または修理する場合。 ●その他危険が予想される場合。
		使用しない場合は、きちんと保管してください。子供や不慣れな者が使用すると事故のおそれがあります。 ●乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。
		損傷した部品がないか点検してください。整備不良は事故の原因になります。 ●使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。 ●可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。 ●破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
		先端工具は、鋭利、かつ、清潔に保ってください。 ●先端工具を適切に手入れして鋭利に保つことで、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
		電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件及び実施する作業を考慮して、取扱説明書に従って、特定の電動工具に合うように使用してください。 ●意図された作業と異なる作業に電動工具を用いると、危険な状況になるおそれがあります。
		ハンドル及び保持面に、オイル又はグリースを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。 ●ハンドル又は保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱い又は制御を妨げるおそれがあります。



## ■整備・修理

		電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。 ●修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やけがの原因となります。修理は、お買い求めの販売店にお申し付けください。 ●電源コードが破損した場合、交換には専門知識が必要ですので、販売店にお申し付けください。 ●この製品は、該当する安全規格に適合しているため、改造しないでください。 ●これによって、電動工具の安全性を維持することができます。 ●石綿(アスベスト)への穴あけ作業及びそうした成分を含む材料がある環境下で使用された電動工具の保守、点検、修理は受け付けできませんのであらかじめご了承ください。
		分解禁止



## ロータリーハンマードリルを安全にご使用いただくために

●先に電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、ロータリーハンマードリルをご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。




### 警告

	騒音から保護するため、耳栓を着用してください。 ●騒音にさらされると難聴になることがあります。
	付属のサイドハンドルを使用し、本機を確実に保持して反動に備えて作業をしてください。 ●制御不能になると材料や、本機が急に跳ねたりして人身事故の原因になります。






### ■使用電源に関して

	使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。 ●表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、ケガの原因となります。
	延長コードは損傷のないものを使用してください。延長コードはできるだけ短く(10m以内)、また本機取り付けの電源コードより太い工具用キャブタイヤコードをご使用ください。ドラム式の延長コードをご使用の際は、コードを全部引き出してご使用ください。 ●巻いた状態のまま使われますと過熱事故の恐れがあります。

### ■ドリル刃に関して

	ドリル刃やその他にひび割れなどの異常が無いことを確認してください。万一ひび割れなどの破損がありましたら、新しいものと交換してからご使用ください。 ●誤って本機を落としたり、ぶつかったりした場合は、ドリル刃などの工具や機体などに亀裂や変形などの破損が無いか十分に確認してください。 ●破損したままご使用になりますとケガの原因となります。
	細径のドリル刃の使用は、折れやすいので十分に注意して作業してください。
	ドリル刃の取り付け、取りはずしときはスイッチを切り、プラグを電源から抜いて作業をしてください。又、電源にプラグを差し込むときは、スイッチが切れていることを確認してください。 ●不意に回転すると、人身事故の原因になります。

### ■作業準備に関して

	適切な保護具を使用してください。作業時には、ヘルメット・安全靴を着用してください。目に切粉が入らないよう保護めがねを着用してください。
	高所での作業の際は、下に人がいないことを確認してください。 ●材料や機体を誤って落とすと、重大な事故につながります。
	作業する前に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。 ●ねじなどが、壁の中などに隠された配線又は電動工具自体の電源コードと接触するおそれがある場合は、ハンドルなどの絶縁された保持面を持って電動工具を操作して下さい。ねじなどが活電部と接触した場合、電動工具のむき出しになった金属部に触ると、感電するおそれがあります。
	作業の前に材料を確実に固定してください。又、必ずサイドハンドルを使用し、本機を確実に保持して反動に備えて作業をしてください。 ●制御不能になると材料や、本機が急に跳ねたりして人身事故の原因になります。
	工具類(ドリル刃など)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。 ●確実にしないと、はずれたりして、ケガの原因になります。

## ■穴あけ作業に関して



電源コードはドリル刃から離してください。  
●本機が制御を失った場合、コードが切断されたり引っ掛ったりして、手又は腕がドリル刃に引き込まれることがあります。



使用中、回転部に衣服が巻き込まれないように十分注意してください。特に手袋を着用しながらの作業は危険ですのでご注意ください。  
●ドリル刃との不測の接触で着衣や手袋が引っ掛り、ドリル刃を身体に引き込む恐れがあります。

禁止



使用中に、ドリル刃や回転部分、また切粉排出部などへ、手や顔などを近づけないでください。  
●ケガの原因となります。

禁止



回転させたまの状態で、台や床の上に置かないでください。  
●本機が飛び跳ねてケガの原因になります。

禁止



本機が熱を持った場合は、無負荷運転を2分程度行った後、機体の温度が十分に下がるまで休ませてください。



使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
●そのまま使用していると、ケガの原因となります。



使用中や作業直後は、先端工具や機体の露出金属部分および切粉などは高温になっていますので触れないでください。  
●やけどの原因になります。



石綿(アスベスト)は人体に有害な物質です。そのような成分を含んだ材料を加工するときは、防塵対策および粉塵の飛散防止対策を施してください。

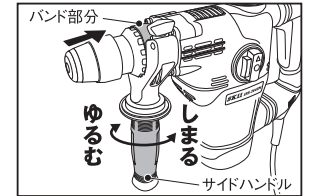
## 3. 使い方

### ⚠警告

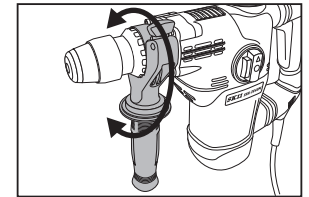
ドリルの取付け、取外しのときはスイッチを切り、プラグから抜いてください。不意な始動による怪我の原因になります。

### 1. サイドハンドルについて

①サイドハンドルの握り部分を回すことで、バンド部分を締め付けたりゆるめることができます。



②バンド部をゆるめて、右の図のようにサイドハンドルを本機先端部の奥まで、しっかりと取り付けてください。



③サイドハンドルは、本機に対して360度回すことができます。作業に合わせて適した位置まで回し、ハンドル部を回して固定してください。  
※デプスゲージ併用時には、ゲージが本機にあたることで、ハンドルの回転範囲が制限されます。(後述参照)

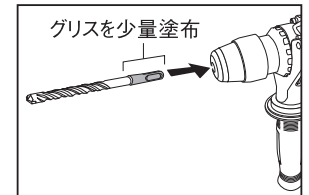
### 2. 先端工具の取り付け、取り外し方

#### ■取り付け

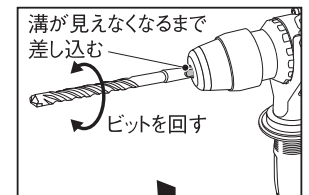
①本製品はSDSプラスチャックを採用しています。

②本機の先端チャック部の内側と外側を清掃してください。

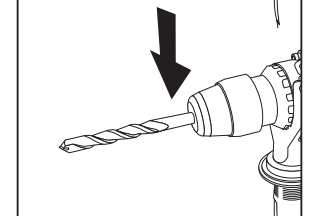
③先端工具の本機挿入部に少量のグリスを塗布してください。



④先端工具根元の溝が、チャック内側に収まるまで差し込んでください。溝が見えなくなるまで差し込めない場合は、先端工具をゆっくりと回しながら、さらに深く差し込める箇所を探してください。

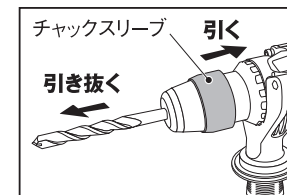


⑤最奥まで差し込みましたら、先端工具が固定されたことを確認してください。



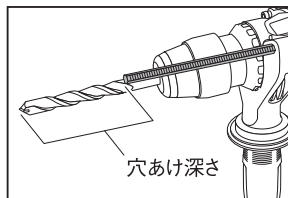
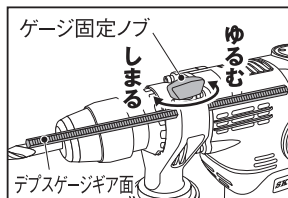
#### ■取り外し

●チャックスリーブを引きながら、先端工具を引き抜いてください。



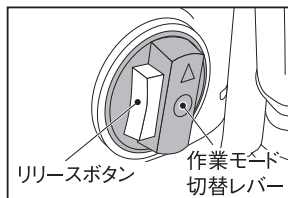
### 3.デプスゲージについて

- ①デプスゲージをサイドハンドルに取り付けて、穴あけ深さを調節することができます。
- ②デプスゲージのギア面が、本体正面から見て2時の方向になっていることを確認してください。(ゲージの向きに注意してください)
- ③ゲージ固定ノブをゆるめて、取付穴にゲージを差し込んでください。
- ④お好みの穴の深さに合わせてゲージを動かして調節したら、ゲージ固定ノブをしっかりと締め付けてください。  
※デプスゲージ併用時は、ゲージが本機にあたることで、ハンドルの回転範囲が制限されます。



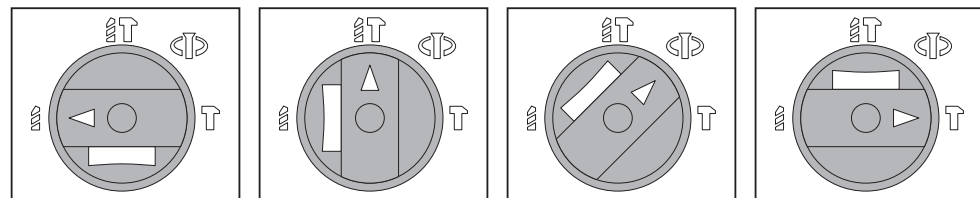
### 4.作業モード切替レバーについて

- ①作業モード切替レバーで、お好みのモードに切り替えてください。
- ②リリースボタンを押しながら、切替レバーを操作してください。  
※内部のモード切替用ギアの停止位置の違いにより、切替レバーがうまく回らないことがあります。その際は、本機を1～2秒作動させてからレバー操作を行ってください。



#### 【注意】

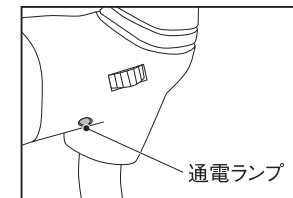
※切替レバーの操作は必ず、回転が停止した状態で行ってください。回転中に操作しますと故障の原因となります。



■回転モード ■回転+打撃モード ■打撃(ハツリ)用先端工具位置決め ■打撃モード(破ツリ)

### 5.通電ランプ

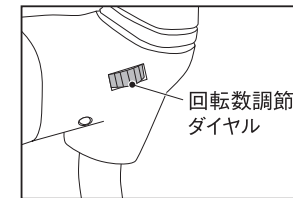
- 本機の電源プラグが電源に接続されると通電ランプが点灯します。



### 6.回転数調節ダイヤル

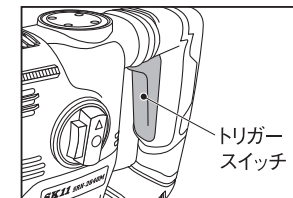
- トリガースイッチ下にあるダイヤルを操作して回転数の調節ができます。
- 作業に合わせてお好みの回転数に調節してください。

(注意)低速回転中は、モーターの冷却風を十分に取り込むことができずモーター温度が上昇しますので、低速回転での長時間作業は控えてください。



### 7.スイッチ操作

- トリガースイッチを引くと本機が作動し離すと止まります。



### 8.穴あけ作業について

※本製品は正回転のみです。逆回転機能はございません。

#### ■石材、コンクリートなど

#### 【注意】

※コアドリル、ホールソー等、石材用先端工具によっては回転モードで使用するものもございますので、ご使用になる先端工具の使用方法や作業案内に従って、作業モードを切り替えてください。

- ①作業モード切替レバーで、回転+打撃モードに切り替えてください。
- ②工具の先端を穴あけ位置に当てて、デプスゲージを調節してください。
- ③トリガースイッチを引いて、本機を軽力で材料に押し当てて作業してください。

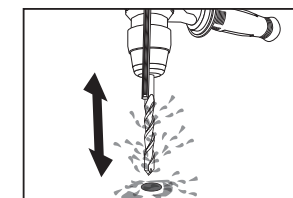
#### 【注意】

※過度な力で本機を押し付けますと、回転や打撃が低下し効率が悪くなります。また、過負荷による故障の原因となります。

- ④穴あけが進むにつれて、穴内部に切粉が滞留し切削効率が下がりますので、作業中に先端工具を前後に大きく出し入れして、切粉の排出を促してください。

#### 【注意】

※切替レバーの操作は必ず、回転が停止した状態で行ってください。回転中に操作しますと故障の原因となります。



## ■木材、金属など

※市販のSDS軸対応のドリルチャックが必要です(別売)

### 【注意】

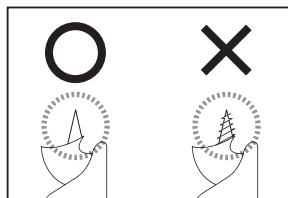
※金属および木作業に際しては、以下の注意事項を確認してください。



- 金属の穴あけ作業に際しては必ずそれぞれの材料にあった切削油を併用してください。切削油を併用しない穴あけは、キリの寿命を短くし、キリ先がすぐに焼けてしまい作業できなくなります。
- 上記のキリの目安は一般鋼材(SS400 6.0mm厚)、ステンレス板(SUS304 6.0mm厚)への穴あけテストに基づいたものですが、切削材料・切削条件により異なる場合があります。
- ステンレス材は摩擦熱により硬度が増すため、硬化する前に切り進めなければなりません。そのため、鉄材への穴あけよりも少し大きな荷重をかけるようにしてください。



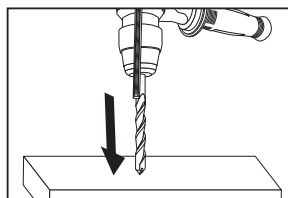
- 太径の木工キリでの作業の際は、右図にあるような先がねじになっているタイプは絶対に使用しないでください。回転力による発音が大きく、振り回される力が大きくなり大変危険です。



①作業モード切替レバーで、回転モードに切り替えてください。

②工具の先端を穴あけ位置に当ててください。

③トリガースイッチを引いて、本機を軽い力で材料に押し当てて作業してください。



### 【注意】

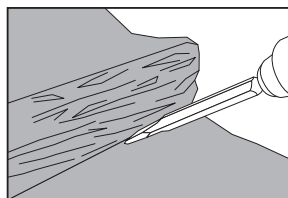
※過度な力で本機を押し付けますと、回転が低下し効果が悪くなります。また、過負荷による故障の原因となります。

## 9.打撃(ハツリ)作業について

①作業モードを先端工具位置決めモードに切り替えて、先端工具の方向を作業しやすい位置に回してください。

②作業モードを打撃モードに切り替えてください。

③トリガースイッチを引いて、本機を軽い力で材料に押し当てて作業してください。



### 【注意】

※過度な力で本機を押し付けますと、打撃が低下し効果が悪くなります。また、過負荷による故障(モーター焼損)の原因となります。

## 10.保守・点検

### ■カーボンブラシについて

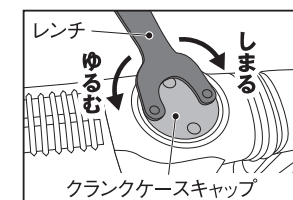
本機を使用中に以下の症状が出ますとカーボンブラシが摩耗している可能性があります。カーボンブラシの交換はご自身でなさらず、お買い求めの販売店を通じて弊社へご依頼をお願い致します。

- パワーが出ない
- モーターから異臭がする
- 回転数が上がらない
- モーターが極端に熱い
- 回転中の火花が大きい
- 回転中に異音が生ずる
- 動かない

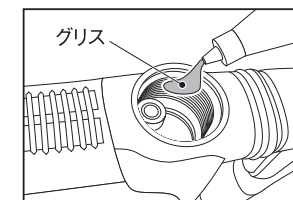
### ■グリスアップについて

本製品はグリスを密閉しているため定期的グリスを交換する必要はありません。基本的には、カーボンブラシ交換のタイミングで補充を行ってください。しかし、パワーが極端に低下したり、異音が生ずる場合は、以下の要領でグリスを補充してください。

- 付属のレンチで本機中央頭頂部にあるクランクケースキャップを反時計回りに回してゆるめ取り外してください。



- 付属のグリスもしくは市販のリチウムグリスを30g注入してください。  
※30gを超える量を入れますと故障の原因となりますので分量にご注意願います。

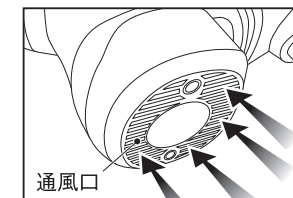


- グリスの注入が終わりましたら、キャップを閉じ、レンチで軽く締め付けてください。  
※キャップは樹脂製ですので過度に締め付けられますと破損します。

### ■本機のお手入れ

●ご使用後は粉塵を本体や先端チャック部からきれいに取り除いてください。特に細かい粉塵は、本機のモーターやスイッチ等に不具合を起こす原因となります。

※モーター部にごみやほこり、粉塵が溜まりますと故障の原因となります。定期的にモーターを無負荷回転させブロワーやエアコンプレッサによる圧縮空気などを本体中央底部の通風口から吹き付けて清掃してください。



- 本体の汚れは固くしぼったウエスなどでふき取ってください。シンナー、ベンゼン、ガソリンなど有機性の液体はご使用にならないでください。
- ご使用中に機械の調子が悪かったり、異常が感じられた際はすぐに使用を中止し、お買い求めいただいた販売店へ点検、修理を依頼してください。ご自身で分解、改造等は絶対にしないでください。

## 4. 無料修理規定

1.取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意書に従った使用状況で保証期間内に故障した場合には無料修理させていただきます。

(1)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参、ご提示いただき、お申し付けください。

2.ご転居、贈答品などで本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、藤原産業(株)情報サービスセンターにお問い合わせください。

3.保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。

- (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
- (2)お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
- (3)定格外の仕様電源(電圧、周波数)などによる故障または損傷。
- (4)車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (5)業務用及びそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。
- (6)本書のご提示がない場合。
- (7)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名のない場合。  
販売店名を証する物(レシートなど)の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

4.本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

5.本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限する物ではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。